

旧潟上市立東湖小学校校舎等の利活用に関する サウンディング型市場調査の結果概要について

本市では、閉校後の施設利用の検討を進めるため、サウンディング型市場調査を実施いたしましたので、その結果を報告するものです。

1.調査の目的

閉校後、未活用となっている土地や建物の民間活用の可能性について、民間事業者との対話を通じて、市場性の有無や活用アイデア等を調査するため実施したものです。

2.調査対象施設

旧潟上市立東湖小学校（令和7年3月閉校）

3.主な調査スケジュール

内容	日程
実施要領の公表	令和8年2月2日
現地見学会	希望により実施
サウンディング実施期間	令和8年2月9日から 令和8年3月27日 ※土日・祝日を除く

4.調査結果

(1) 参加事業者数 4事業者（業種：建設業3者、漁業1者）※共同提案含む

(2) 提案等の概要

事業者1	<ul style="list-style-type: none">・まち、人、文化、地域共創拠点として活用（健康増進ゾーン、こどもプレーゾーン、地域コミュニティゾーン、文化創造ゾーン）・備蓄倉庫
事業者2	<ul style="list-style-type: none">・【災害時】高機能防災拠点として活用（再生可能エネルギー発電設備、Wifi環境整備、マンホールトイレ設置等）・【平時】地域交流拠点、サテライトオフィス等として活用。・体育館は避難所として継続使用が可能。
事業者3	<ul style="list-style-type: none">・釣堀施設としてプールの活用

※申込書提出順

事業者からの主な意見

- ・設備費の負担や委託料等、行政からの費用負担があれば、参入意欲は高い。
- ・PFI方式は初期投資が大きいため、スモールコンセッション方式が望ましい。